

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

4 月号 No.220

発行／熊本県農業者政治連盟

JA熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



イルカウォッチング

天草西海岸の沖合いには、野生のバンドウイルカが生息。青い海に回遊するイルカとの出会いが楽しめます。

主な内容

- ・食の安全・安心と農業への理解促進運動
- ・かばしま郁夫新知事誕生
- ・ガンバッテいます：山下弘喜さん 高木嘉代子さん
- ・各連合会からのお知らせ

三月三十一日、道路特定財源の暫定税率の期限が切れた。実際のガソリン価格の値下げは、仕入れ在庫分販売のために、数日かかるところであったが、店舗によっては四月一日、安売りをはじめるなど、大変な混乱であった。しかしながら、消費者にとっては、二十五円の還元が、きわめて好評である。

とりわけ、今年の四月以降穀物価格の上昇により、醤油、パン、麺類等が値上げされ、併せて電気、ガス料金も一斉に引き上げられており、消費者への負担は大きい中である。

今回、福田首相は、ガソリン税などの道路特定財源を平成二十一年度から一般財源化することを表明した。

これまで我国の道路整備で、道路特定財源が果たしてきた役割りは非常に大きい。とりわけ地方における道路網の整備は、地域経済の活性化に大きく貢献していることも事実だ。

しかしながら他方、明らかに無駄な道路建設や、国交省官僚の天下り先の公益法人への、割高な随意契約の発注が明らかになった。更には、道路予算が、国交省公益法人の職員旅行費用や健康器具・スポーツ用品の購入等に使われていたことも発覚した。

今回の道路特定財源の一般財源化に際しては、これらの無駄遣いを徹底的に見直すとともに、国民の納得するガラス張りの支出が求められている。

今、ガソリン等の再値上げは我々にとっては、非常に痛い。

しかしながら、都市と地方の格差、更には、地方の活性化を図るために暫定税率は必要である。このために野党各党も、これらを単なる政争の具とせず、一般財源化の問題も含め、我が国の将来についての真剣な論議をお願いしたいものである。

あせらば



食の安全・安心と 農業への理解促進運動



街頭宣伝活動でチラシとミニトマトを配布



熊本安全・安心うまかもん市開催

J Aグループ熊本および熊本県農業者政治連盟は、消費者に対して、① J Aグループの食の安全・安心への取り組み（残留農薬検査・トレサビリティ徹底等）、②我が国の食料自給率の低さ（食料安全保障問題）、③生産コスト上昇分の農畜産物への価格転嫁、④WTO・EPAに関する問題等への理解を求めるとともに、安全・安心な熊本県農畜産物のPR活動を実施する。

これまでの経緯

平成十三年の国内初のBSE牛発生以来、食品の偽装表示問題、輸入農産物の残留農薬問題などで、食の安全への関心が高まってきた。

熊本県J Aグループは、平成十四年「食の安全・安心対策本部」を設置し、県下統一ルールによる残留農薬検査を実施して、安全で安心な農畜産物を消費者に供給してきている。

このような中、中国輸入加工品への

街頭宣伝活動用ティッシュ・チラシ



殺虫剤混入による食中毒問題が発生し、輸入食品への不信と食への安全性に対して、消費者の一番の関心事となっている。

一方農業経営は、原油価格および輸入飼料の高騰など、農業生産資材の上昇により農家所得は大幅に減少し、生産コスト上昇分を農畜産物への価格転嫁もできない状況にある。

食の安全・安心への取り組み

平成十五年一月に「生産履歴記載運動」を提起し、マニュアルの作成・普及等を通じて運動を推進してきた。

平成十五年十二月から安全・安心な農産物を消費者の食卓に提供するため「熊本県J Aグループ統一残留農薬自主検査」を計画的に実施している。

食品衛生法の改正に伴いポジティブリスト制が平成十八年から導入され、これに対応して農薬の適正使用のこれまで以上の徹底と、飛散（ドリフト）防止に向けた技術対策の実施等についての研修会などの開催および啓発チラシ・パンフレットを作成・配布による制度の周知徹底に努めている。

公的命令・指導などに適切に対応するため、県段階に相談窓口を設置し、生産現場の対応支援を行っている。

県民一般消費者に対して「食の安全・安心」など「食」と「農」のあり方などについての理解促進のための、シン

ポジウム等を開催してきた。

理解促進運動の実施



街頭宣伝活動風景（下通り）

① 新聞等メディアによる展開

「熊日新聞のくまもとあぐりん」
「すばいす」などの紙面を活用して
広報活動を実施する。

十五秒のテレビスポットを作成し
て、三月中旬から四月まで、昼食夕
方の時間帯に主婦層を対象にスポッ
トCMを放映した。

さらに、平成二十年度から実施す
るRKKテレビ「痛快どろんこ塾」
でのアピールを行う。

② 消費者理解促進運動の展開

J A、中央会・連合会職員により、
三月上旬から四月上旬の土曜日に下
通り、子飼商店街、健軍商店街でチ
ラシ（一万枚）、農産物・ティシュ
ペーパーなどを配布し、消費者に対
する街頭宣伝活動を実施してきた。

また、四月五日、上通りの熊日び
ぶれす広場において「熊本安全・安
心うまかもん市」を開催して、熊本
農産物の宣伝即売会と安全・安心の
PR活動を行った。

③ 今後の運動の展開

食の安全・安心、食料自給率三十
九%（カロリーベース）問題および
WTO農業交渉に対して、県民への
理解促進を図るため、消費者、生産
者の意見交流会を開催する。

また、小学生とその家族を対象に、
「あぐりんツアー」を行い、生産現
場を訪ねて農業体験を通じて食の安
全・安心をPRする。



かばしま郁夫新知事誕生

今後、熊本県農業に活力を取り戻すための、
新たな農業振興策を期待したい。

二〇〇八県知事選挙の投票が
三月二十三日に行われ、三十三
万票余りを獲得して、四候補を
大差で破り初当選した。

今回の農政連は、「かばしま候
補」を推薦、希望と豊かさに満
ちた熊本農業の創造に向けて政
策協定書を締結した。

農政連総支部の盟友をはじめ
各地区の青壮年部、女性部、農
政連生産部会、J A役員等、
県下J Aグループの総力をあげ
て支援活動を展開していただい
た結果である。

県下J Aグループのみなさん
には、大変、お疲れでございま
した。お世話になりました。



J A熊本市

青壮年部 活動

J A熊本市青壮年部は、九支部総盟友二百七十九名で、
営農地帯の支部と都市型の支部とに大きく分かれており、
構成割合も営農地帯が多く、都市型の支部では少ない
盟友で活動しております。全員集まっての活動はなか
なか出来ませんが、活動の一部をご紹介します。



安全・安心のPR

11月29日



十二月二十九日
から十二月二日には、
上通り入口のびぶ
れす広場で、安心・
安全のピーアール
をしながら青壮年
盟友が大切に育て
たレタスやナス、
トマトなどの新鮮
な農産物の販売を
行い、消費者に好
評で瞬く間に完売
することが出来ま
した。

環境美化

9月1日



昨年の九月一日
には役員、青壮
年部、女性部合同
で環境美化活動の
一貫として、熊本城、
熊本新港、江津湖
でのチリ拾い、別
の日には環境美化
と言うことで飽田
カントリーで、花
一杯運動として花
の苗植えを行いま
した。

あぐりスクール



熊本市内の小学
生を対象にJ A熊
本市主催で開催さ
れている「あぐり
スクール」に二年
前から田植え、稲
刈り、芋植え等、
盟友が参加・協力
しており、子ども
達に大変喜ばれて
おります。



食の安心・安全

3月13日・14日



三月十三日・十
四日の二日間、「食
の安心・安全」を
一般消費者に解かっ
てもらうためのチ
ラシ配布を、上通
り入口で、多くの
盟友の参加により
行いました。



山下 弘喜さん
JAれいほく



ジャム加工場・事務所にて

●就農のきっかけ

天草郡荅北町、美しい海に囲まれた温暖な気候を生かし、みかん、びわ、冬レタスの栽培が有名。

山下さんは、昭和四七年八月に生まれ、天草高校を卒業、地元のJAに勤務。その後、みかん農家の祐貴子さんと結婚。本格的にみかん栽培に取組み、今年で一二年になるそうです。

現在、露地みかん四・八ha、水稲五十haを栽培しています。

●種類豊富なみかん栽培

「JAをやめて本格的にみかん作りを始めた頃は、体がきつく大変だった」と当時のことを話されました。

秋口の極早生温州からスタート、スイートスプリング、河内晩柑…まで年中、出荷できるよう工夫しています。除草剤を使わないので、これを草刈機で刈り、みかんの木の下に置き、独自の方法で肥料にしたりして、

薬を使わない「安全で、おいしいみかん」を栽培しています。

●おいしいみかんをお客様へ

「現在は、地球温暖化が進み、以前のような季節のメリハリが無くなっています。露地みかん栽培は、気候状況で収量、味ともに左右されることからいろいろ工夫を凝らして、安全でおいしいみかんを一定量確保し、お客様に届けられるよう力を注いでいる」と話す。

●オリジナルみかん加工品

規格外のみかんを原材料に、祐貴子さんを中心に「こジャム」、「晩柑ジャム」、「みかんジャムソース」を作り、特に、五月のびわの収穫期はパートの応援で「びわジャム」の加工製造にフル稼働です。

お得意さんへの産直をはじめ、荅北物産館や東京・銀座の熊本館でも販売しています。

「ただ、みかんの摘果、収果のときは、祐貴子さんたちにも手伝ってもらいます」と話します。

●青壮年部活動

現在、JAあまくさ、JA本渡五和、JAれいほくの天草地区青壮年部協議会の委員長として日々、積極的に活動されています。

「これからは、農業者政治連盟や青壮年部などについて、組織の役割、意義を、若い部員に訴え、みんなが自覚を持った、活発な組織活動が出来るよう啓発していきたい」と力説された。

支部長 高木嘉代子さん
JAかみましき女性部嘉島支部



JAかみましき嘉島支所にて

「ヘルパーの仕事はとてもしっかりがいがあります。」と話す高木嘉代子さんは、旦那さんがJA職員だった関係で、JA女性部へ加入し、現在、女性部の支部長を務める傍ら、JAかみましき福祉センターでヘルパーとして、日々、元気な高齢者を相手に、安心して生活できるために活躍されています。

高木さんは上益城郡御船町出身で、旦那さんとは、知人の紹介で知り合い結婚。もともと実家が農業を経営していたこともあり、忙しい時期には旦那さんの農作業の手伝いもしているそうです。

●「ヘルパーとして」

現在、高木さんは福祉施設の「あおぞら」でヘルパーとして働いています。介護福祉士と最近、ケアマネージャーの資格を取得され、今後の活躍が期待されます。

「あおぞら」では、パズルや折り紙、ゲームをしたり、輪ゴムを使った指の体操などを企画して、介護以外で高齢者の方々が楽しくのびのびと過ごせる努力もおこなっています。

●「女性部の活動」

高木さんが支部長を務める嘉島支部の女性部は、会員四九名で活動しています。

活動内容は、主な活動として旅行やランドゴルフ大会など。また書道、生花、陶芸など自分の興味あることを選んで取り組むことができます。あと「大極柔力球」といって、ボールとラケットを操って体重移動する振り子運動も行って、新しいことにも取り組んでいます。

●「趣味を通じて」

高木さんは、学生時代にプラスチックバンドでフルートを演奏していたそうです。「久しぶりに演奏する機会があったんですけど、なんとか最後までできました。これを機に今後も、高齢者の方々の前で演奏する機会があればやってみたいですね。」とご自身の趣味を通じて高齢者の方を元気にしたい思いを語ってくれました。

●「期待と抱負」

「部員の減少が一番の課題ですね。女性部へ加入してもらうために、もっと独自の活動をしていきたい。また活動自体を楽しめるようにするために、各グループそれぞれが率先して取り組んでいくような女性部にしたいですね。」とこれからの女性部への期待と抱負を話されました。

J A 中央会

組織・事業改革に邁進

～J A 熊本中央会～

連合会臨時総会開く

J A 熊本中央会、各連合会は三月十七日、熊本市のJ A 経済連ホールで臨時総会を開き、二〇〇八年度事業計画などを承認した。

J A 熊本中央会の園田俊宏会長は「J A が組合員をはじめ地域から最も信頼される存在となることを目指し、組織・事業改革などに邁進する必要がある」とあいさつした。

総会では、〇八年産米の計画生産では「計画生産の徹底と水田農業の確立による食料自給率向上を目指す」、世界貿易機関（WTO）、日豪経済連携協定（EPA）交渉など農畜産物貿易交渉の結果次第では、本県農業も大打撃を受けることから「重要品目の除外に向け、組織の総力を挙げた取り組みを展開する」との特別議決を採択した。

中央会の事業計画では、基本的課題として、①農政課題への対応②第二十二回J A 熊本県大会決議事項の着実な実践③J A グループ共通農業戦略の実践④万全な経営の確立を挙げた。

信連は、〇九年一月十三日の農林中央金庫との最終統合の実現に向け、万全を期すとともに県域業務の着実な遂行、内部管理の充実を挙げた。

経済連は、①地域農業振興に向けた



挨拶する園田中央会会長

生産基盤の再構築②販売事業改革の実践とくまもと農畜産物の安定・有利販売③生産資材コスト低減に向けた低コスト資材の開発・普及拡大④各事業の競争力強化に向けた県域事業体制の再構築⑤経済連グループの組織・事業改革に取り組むことを挙げた。また、四月一日より「J A グループくまもと青果販売コントロールセンター」を設置する。

厚生連は、①新たなJ A 健康管理活動の推進②信頼される健診活動と質の高いサービスの提供③事業推進体制の確立と経営基盤の強化を基本に取り組むことを挙げた。

J A 経済連

春夏瓜類・春野菜

生産出荷大会

経済連は三月十二日、熊本市内で平成二十年産春夏瓜類・春野菜出荷大会と豊作祈願祭を開き、販売目標金額三〇〇億円（春夏瓜類一二五億円、春野菜一七五億円）の達成を誓いました。

大会には県、県内J A グループ、市場関係者ら約三〇〇人が出席。同経済連の松村秀一会長が「多様化、多元化化する生産・流通への対応力強化を図るため、「販売力強化」「集荷力の強化」「生産対策の強化」の三つの改革テーマを掲げ、これを一つ一つ、着実に実施しながら、「生産者手取りの最大化」を目指していきたい」と力を込めました。

平成二十年産の生産計画（三～六月）は春夏瓜類の作付面積が一五一・五畝（前年対比九八％）出荷量が四万六八四〇・四ト（同九七％）となっている。春野菜の作付面積は二三五・一畝（同一〇一％）、出荷量は六万三三八四七・六ト（同一〇四％）となっています。

経済連によると、「瓜類・野菜ともに日照不足・低温の影響による、生育遅れがみられるが、天候の回復もあり順調な生育状況をたどるとみられる。

春野菜については、主力品目のトマト類で特にミニトマトの作付けが増加している。また、振興品目のアスパラ

ガス、キャベツ、レタス類の露地野菜も増加傾向である」という状況です。

大会では生産・販売の取り組みで「品質を優先した省エネ基本技術の徹底」「安全・安心な商品づくりの徹底」「情報の共有化による、多元化した流通への対応」「安定供給による『売り場確保』のための産地連携体制の強化」「『よかくまさん』ブランドのアピールによる宣伝活動の展開」の五つの基本方針が報告されました。

出荷のピークは四月中旬から五月中旬。関東・関西を中心に全国に出荷します。



販売目標金額三〇〇億円の達成を誓った春夏瓜類・春野菜出荷大会

JA 渉外担当者

研究大会開催

「満点運動」表彰式

去る平成二十年三月十九日(水)に熊本テルサにて平成十九年度「JA 渉外担当者研究大会」が開催され、県内JAより約五十名の渉外担当者が参加しました。

まず、平成十九年度の実績発表に続き優績者表彰式が行われ、総合部門・定期貯金・定期積金・JAカード・年金の部門毎に各基準値を上回る十一名の方が表彰を受けられました。なかでも、JAあしきたの宮脇清美さんは、総合部門および年金部門で二年連続の第一位となり優秀な成績を収められました。

続いて、優秀者の体験発表としてJAあしきたの宮脇清美さんとJAくまの椎葉万さんによる体験発表があり、継続的な訪問活動の重要性、日常生活の地域住民の方々とのふれあい活動の大切さなど自らの体験談を交えた取組み発表が行われました。

次に「平成二十年度JAバンク熊本重点実践事項」について説明があり、民営化したゆうちょ銀行対策を踏まえ、信用事業を取り巻く環境は今後ますます激化する傾向があり、早急に競争に打ち勝てる体制・仕組みを確立する必要があります。渉外担当者は重要なポジシ

ョンである事が再認識されました。

また、参加された渉外担当者を代表して、JA熊本市の馬原優一さんによる「決意表明」が発表され、お互いに自己啓発に努め、お客様のニーズに応えながら平成二十年度重点実践事項を実践するとともに、JA目標を達成することを誓われました。

最後に、株式会社熊本放送のアナウンサーの木村和也氏より「再起可能 勇気と希望」と題して講演が行なわれ、「それぞれが目標を掲げ、達成イメージを持つことの必要性」を自身の体験を交えた貴重な講演があり、大変有意義な大会となりました。

今後ともお客様に満足いただけるよう渉外担当者のますますの活躍を期待します。



表彰を受けるJAあしきたの宮脇清美さん



体験発表を行うJAくまの椎葉万さん

平成19年度「満点運動」表彰者名簿

部門	順位	JA名	氏名
総合部門	1	あしきた	宮脇 清美
定期貯金部門	1	本渡五和	廣田千佐子
	2	上益城	高沢 登
	3	熊本市	緒方 志泰
定期積金部門	1	熊本市	緒方 志泰
	2	上益城	石橋 賢信
	3	上益城	高沢 登
JAカード部門	1	くま	椎葉 万
年金部門	1	あしきた	宮脇 清美
	2	あしきた	高橋 和江
	3	あしきた	松下 義謙

「全席シートベルト着用ステッカー」十万枚を贈呈

「後部座席もシートベルト着用を」

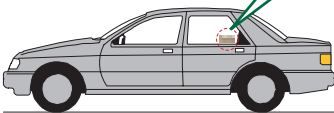
去る四月十日(木)、熊本県警察本部において「全席シートベルト着用ステッカー」の贈呈式が開催されました。JA共済では、毎年「春の全国交通安全運動」に協力・協賛しており、「交通事故ゼロを目指す日」のこの日、「全席着用シートベルトステッカー」十万枚を熊本県警察本部へ寄贈しました。

これは、平成二十年六月から道路交通法の改正に伴い実施される「全席シートベルト着用義務化」を受け、県内の交通事故での被害軽減に役立てようと、全席シートベルト着用を促すステッカーを作成したもので、交通関係団体を中心に配布されることになっています。

JA共済では、これまでも交通事故対策として、救急自動車や交通安全指導車、反射たすきなどの寄贈を行ってきました。また、園児に向けて歌いながら交通ルールが身につく楽しいミュージカル形式の交通安全教室や、高齢者向けに五人の落語家による笑い満載の「交通安全落語」なども開催しています。今後も交通安全思想を幅広く社会に訴えていくことを目的にさらなる努力を続けていきます。



贈呈式でステッカーを貼るJA共済連熊本桑野本部長





● 入学：入社式シーズン。桃、桜、ハナミズキなど華やかな季節の到来。花見で一杯、楽しみます。



4月に咲く花「ハナミズキ」

ハナミズキの名は、ミズキの仲間の花が目立つことに由来する。アメリカヤマボウシとも呼ばれ、日本からワシントンに贈られたソメイヨシノの返礼として贈られた。花色も白からピンク、赤に近いものまで様々。樹冠いっぱい咲く花や、美しい秋の実と紅葉など、一年を通して楽しめる。

(花ことは)

私の想いを受けてください

ミズキ科／落葉高木／アメリカ原産

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 096132811284

FAX 096132615807

JAバンク 熊本

JAの定期積金

毎月1万円・2万円と目標額を決める掛け金を決め、期間を決めるなどお好みの方法が選べます。

頑張った子供たちに、応えてあげたい。お子様の教育資金づくりはJAバンクで。

食と農 ひらく未来へ確かな目

「食と農のかけ橋」面を創設

食のニーズ、消費者の声を正しくとらえて産地へ価値ある情報を発信します。月曜日から金曜日まで終面カラーで届けます。

紙面を刷新▶情報を素早く分かりやすく

役立つ情報を毎日▶農産物市況予測を充実・農業の実用記事を満載・気象見通しを強化

JAグループ **日本農業新聞**

購読のお申し込みはJAへ 定価1か月2,550円 JA熊本中央会

だから、安心なんです。

JA共済は日頃から訪問してくれる。

JA共済

私たちは、皆さまにご満足いただくため、「おかわりありませんか？」の訪問活動を行い、ご加入の契約内容のご説明をし、保障に備えるご不明点など、ご心配な点やご要望をお聞かせいたします。

詳しくは、お近くのJA本部へお問い合わせください。☎ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

みんなにサンキューキャンペーン実施中！ <http://www.3qja.jp> 右記QRコードからもご覧いただけます。

08481050115

新規会員募集中

JAグループ JA熊本経済連

ふれあい食材

JA FOODS DELIVERY SERVICE

ご家庭の健康を考えてJAの食材をお届けします。

JAの食材は、国内産の農畜産物と新鮮な魚介類を中心に、健康宅配便としてご家庭までお届けします。また、加工食品については余分な添加物は使用しておりません。安心してご利用いただけるJAならではの食材です。

基本コース	
ほのぼの(1~2人用)	15,750円(税込)
だんらん(3~4人用)	25,200円(税込)
なごやか(5~6人用)	33,600円(税込)

ほかにもご家庭に合ったコース内容をご用意しております。お問い合わせは最寄りのJAまで！

JA熊本経済連